

2014年4月1日、田代小・大崎小・御厨小の3つの小学校が統合し、新たな御厨小学校として歴史の第一歩を踏み出しました。この学び舎に集う子どもたち、先生、保護者、地域の人たちによって明るく希望に満ちた未来の創造が始まろうとしています。

特集

ひとつに

— 新たな御厨小学校のはじまり —

【写真】開校式で新しい校歌を歌う児童たち

学校が一つに

御厨地域の3つの小学校が統合し、新たな歴史を歩き始めた御厨小学校（鴨川校長、児童221人）。4月9日には同校の体育館で開校式が開催されました。

式には、2年生から6年生までの児童と先生、多くの来賓や保護者などが出席し、暖かな春の陽気が会場を包み込む中、開校式が始まりました。

鴨川校長は「御厨小の輝かしい未来を願う地域の皆さまの思いを胸に、子どもたちの幸せを約束できる学校づくりに決意を新たに作り組んでいきます」とあいさつしました。

続いて、友広市長が、「子どもたちの健やかな成長を祈り、今後、築かれる御厨小学校の新たな伝統に期待しています」と祝辞を述べると、児童を代表して、坂田光希さん（6年）が、「3校の伝統を引き継ぎ、素晴らしい学校にするために、みんなで協力してがんばります」と抱負を述べました。

また、式では小学校の統合に合わせ作られた新しい校歌が披露されました。

校歌の歌詞のテーマは友情・勤勉・健康。それぞれのテーマは歌詞の中で光・望み・力という言葉に表されており、1番から3番までの流れにある大岳、竜尾川、玄海というつながりには、御厨から世界に目を向け、世界でも通用する子どもに育ってほしいという思いが込められています。

曲には御厨小学校の子どもたちが大きく健やかに、そして、夢を持って正直に学校生活を送ってほしいという願いと、御厨の自然を大切にしたいという願いが込められています。

校歌を手掛けた縣恒則氏と古本鉄也氏も式に出席し、両者が見守る中、6人の児童により歌詞が収められた額縁の除幕が行われました。

除幕が終わるとピアノの伴奏が始まり、出席者全員で新しい校歌を斉唱。会場内には大きな歌声が響き渡り、田代・大崎・御厨が一つとなって誕生した御厨小学校の新たな門出を祝福しました。



新たな御厨小の活躍に期待

市長
友広 郁洋



新たな御厨小学校のスタートを心からお喜びいたします。

子どもたちの将来と幸せを第一に考え、多くの関係皆さまには、苦渋に満ちた中でご英断をいただいたことに心から感謝いたします。

ここ御厨には、素晴らしい自然や文化、歴史、そして人々の知恵があります。学校、保護者、地域が一体となり、地域のすばらしさを子どもたちに教え導いていただきたいと思います。

市としても、子どもたちの健全育成と地域振興のために、今後も全力を注いで参ります。

児童の皆さんが、それぞれの学校で培ってきた知力、体力、思いやりの心を存分に発揮し、御厨小学校の新たな伝統が築かれていくことに期待しています。

伝統を引き継ぎみんな仲良く

児童代表(6年)
坂田 光希



田代小、大崎小、御厨小のそれぞれで違った取り組みもあり、三校が一つになるのは大変だと思いますが、皆さんと早く仲良くなり、すばらしい御厨小学校にするために、協力していきたいと思っています。

もう一つ大切なことがあります。それは、3校にあったそれぞれの伝統を引き継ぐということ。新しい学校になっても、すばらしい伝統は忘れてはいけません。

仲良くすること、伝統を引き継ぐことをみんなで協力してやっていきましょう。そして笑顔とやさしさにあふれる学校になるように、みんなでがんばりましょう。

わたしたちは、新しい御厨小学校としてがんばっていきます。地域の皆さん、これからも温かく見守ってください。

子どもたちの幸せのために

校長
鴨川 寛二



子どもたちは、新しい環境に慣れようとがんばっています。

閉校した田代、大崎の両校に対する惜別の念を感じるたびに開校への責任の重さを痛感しています。

子どもたちが目を輝かせ、生き生きと生活できる学校を目指し、多くの子どもがこの学校に通って良かったと思えるような御厨小学校をつくっていききたいと思います。

しかし、すべてのことが初めてのこと。地域の人をはじめ多くの人に支えられながら一歩一歩進んでいかなければなりません。どうぞ皆さまのご理解とご支援をお願いします。

御厨小の輝かしい未来を願う地域の皆さまの思いを胸に、子どもたちの幸せを約束できる学校づくりに決意を新たに作り組んでいきたいと思っています。